

## 西洋建築史第11回

### バロック3 - 都市の破壊と再生

中島 智章

#### 序.都市と三権

教権:ローマ教皇、各地の大司教や司教… 司教座聖堂、参事会聖堂

王権:ヴァロワ家 ブルボン家、ハプスブルク家… 宮殿、軍事施設(都市防御システム、城塞=citadelle)

自治権:市長、市参事会、同業組合… 市庁舎、grand place、同業組合の建物群、コーヒ-ハウス(情報交換、コンサート)

今日のスライド例: ボン市庁舎、ブリュッセル大広場(1695~) 仏軍の砲撃による被害から再建、リール旧市場(1652-53)

#### 1.都市を飾る記念建築

パリの非武装化(市壁の撤去)と凱旋門 BLONDEL, Nicolas-François(1618-86): サン=ドゥニ門(1671)、サン=マルタン門

PERRAULT, Claude(1613-88): サンタントワヌ門(未完)

パリ門(1685-92、リール)

パリの広場: Henri IV治世下のパリ近代化 国王(ヴォージュ)広場(1605)、王太子広場、ボン・ヌフ

HARDOUIN-MANSART: ヴィクトワール広場、ルイ14世(ヴァンドーム)広場(1685-1720) ファサードのみ規定

GABRIEL, Ange-Jacques(1698-1782): ルイ15世(コンコルド)広場(1757~) ルーヴル宮殿列柱廊

各都市の国王広場: place royale 国王のイメージを全土の臣民に伝達 ナンシーの国王(スタニスラス)広場(1752-56)

ロンドン大火(1666) WRENの都市計画(計画通りに実現せず) 再建法(1667)= 道路幅や煉瓦造建築の構造基準

#### 2.都市宮殿と邸館建築

MADERNO; BERNINI; BORROMINI: パラッツォ・バルベリーニ(1628-33) バロック・ローマの宮殿建築の代表例

BROSSE: リュクサンブル宮殿(1613~)、レンヌ高等法院 装飾だけでなくマスとしての古典主義建築

LE MERCIER: ルーヴル宮殿クール・カレ拡張、時計のパヴィリオン(1624-25~)、パレ・カルディナル(1633~)

MANSART, François(1598-1666): プロワ城館オルレアン公爵棟(1635-38)、メゾン・ラフィット(1642-50)

LE VAU: ランベール邸館(1640-60頃)、四国学院(collège des quatre nations、1662~) 珍しいイタリア風バロック建築

BERNINI: ルーヴル宮殿東側ファサード計画案(第1-3案) × 下記の三人委員会による新案検討

LE VAU; LE BRUN; PERRAULT: 列柱廊に鉄筋の使用 ヴェルサイユ遷都によりルーヴルの事業は放棄される

COTTE, Robert de(1656-1735): 大トリアノン宮殿(H.-MANSART作、1678-89)の列柱廊、ブルヴァレ邸館(1717)

BLONDEL, Jacques-François(1705-74): 邸館の定型 左右対称に夫妻のappartement併置+ 応接・社交の間が重要

+ 控えの間の存在(主人と同じ場にいられないが近くに控えねばならない召使いが控え)+ 不整形敷地に左右対称性

ex) LE PAUTRE, Antoine(1621-79): ホーヴェ邸館(1654-60)、COURTONNE, Jean(1671-1739): マティニオン邸館(1722-24)

#### 3.百花繚乱のロココ様式

王妃Marie-Thérèse没(1683) ヴェルサイユ宮殿国王のアパルトマンの移動: 大理石とスタッコ装飾 金と白の羽目板

牛眼の間(第2の控えの間)と国王の寝室(1701) 羽目板中央の装飾が発展して貝殻(rocaille)状に Style Rococo

貴族や富裕な都市住民の住宅の内装としても普及 COTTE: ラ=ウリエール邸館(MANSART作)のSalon Bleu(1730)

BOFFRAND, Germain(1667-1754): スーピース邸館(1737-39)、特に2階の楕円形広間(プシュケーの物語の天井画)

\* 内装の変遷: Style Louis XIII Style Louis XIV Style Régence Style Louis XV Style Louis XVI Style Empire

\*\*\*\*\*

例題およびレジュメ置場 <http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~dt13029/cours.htm>